

支部

だより

各支部での一年間の総会・活動などの様子をお届けいたします。

関東支部

草場 康子（女大18被）

令和六年も、七月十四日（日）、アルカディア市ヶ谷で、関東支部の総会・懇親会を行いました。参加者は、女短（七名）、女大（二十四名）、農短（二名）、県大（七名）、県広大（一名）、他先生を含め、計四十四名の参加でした。年々、参加人数が減っているのが課題となっています。工夫として、付き添



色を使ったミニワークを実施しました



ふるーの演奏にあわせて手話にチャレンジ！

いの方の席を設けるなどの設定をし、今年は二名の方が同伴の方と一緒にご出席されました。

また、広島県公立大学法人理事長の鈴木典比古先生、恩師の今泉敏先生もご参加していただきました。本当に感謝、感謝です。

総会では、活動報告、会計報告、次年度予算報告、会計監査が全て承認され、講演会にスムーズに移行できました。

今年の講演会の企画は、「色」です。色彩心理及び心理カウンセラーの牛尾眞澄様を講師にお招きし、折り紙を使ったミニワークショップ、また身近にある色から見てくることなどをお話していただきました。

総会は、今回も大竹美喜さん（農短5農業）の掛け声からスタート。美味しい食事に皆さま、ご満悦の様子でした。コミュニケーション「ふるー」の方々



手作りの会の方々の力作がズラリ！

の素晴らしいマンドリン演奏を聴き、その演奏と一緒に、全員で手話での「ビリーブ」の合唱に挑戦をし、大成功でした。やはり、身体を動かすのは楽しいですね。

会の途中では、手作りの会の方々の素敵な作品をお目当てに、お買い物を楽しまれている方々もいらっしゃいました。

今年は少し趣向を変えて、皆さまの喜ぶ顔を見ることができた会にしようと思案中です。また元気な笑顔でお逢いできることを楽しみにしています。

近畿支部

橋本 芳和（農短21農学）

皆様にはご心配をおかけしておりますが、近畿支部での活動は現在止まったままです。支部長をうまく引き継いでいただく努力を怠っていたのが今の状況になっています。私としては、打開策に苦慮しております。できれば支部長を引き継いでいただける方を捜して、そこから支部総会を計画していただきたいと思っています。どなたかお願いできませんでしょうか。

岡山支部

藤井 茂保（農短22農学）

二〇二五年は、岡山支部の支部総会の開催年（隔年開催）に当たります。

同窓会で気心の知れた旧友に会えることは楽しみの一つですが、世代、キャンパス、前身校が異なり、なかなか初めての方の参加が得られていないのが現状です。しかし、新しい出会いから、新しい発見もあります。

まだ支部総会に出席されたことのない方にも気軽に参加して頂ける企画を考えています。

開催時期は二〇二五年十一月を考えており、この「支部だより」が掲載される「会報」と併せて送付される「支部からのご案内」では、具体的な内容をお知らせできるかと思っています。

福山支部

前中 弾（県大2生管）

福山支部では五年振りとなる支部総会を二〇二四年十一月十日に開催しました。このたびは幹事役員は選出せず支部役員のみで準備を行い、なかなか大変でした。

当日は同窓会本部の北村会長をはじめ、初参加の同窓生のご参加があり、前回とはまた違った雰囲気で大変楽しい会となりました。出演をお願いしていた「ロマンとヨシキ」さんというギターデュオの和やかなトークと素敵な



歌唱で皆さん心が軽やかになったご様子でした。続いての同窓生の自己紹介では人生の振り返りや近況などをお一人ずつ話していただき、それぞれのユニークな内容のお話に会場みんな笑い、うなずき、拍手し、満ち足りた気持ちになったのは私だけではなかったと思います。その後の歓談では、県立広島大学同窓生では初めてご参加の方から、推しについて話題提供があり、各テーブルではお話しに花が咲いておりました。ご参加の同窓生、ご出演のアーティスト、そして少人数で準備に奔走して下さった支部役員のメンバーには

感謝しかありません。

福山支部では会の運営と後継については大きな転換期を迎えています。世代間の交流の場としても大変貴重なこの福山支部が今後も続いていくために、同窓生の皆さんの知恵をぜひお借りしたい次第です。

以上、福山支部からのご報告とお願いでした。

尾道支部

木梨 可奈子（女大6生）

尾道支部総会を終えて

同窓生の皆さま、こんにちは。

尾道支部では、例年より遅い梅雨入りした前日の、六月二十三日（日）に、支部総会を開催しました。

場所は、尾道市潮見町の「なかつた美術館」。参加者は、十一名（女短三名、女大八名）でした。

この美術館は、フランスの「ポール・アイズピリ」の作品を中心に、尾道ゆかりの「小林和作」の作品なども収蔵しています。

雨に濡れる庭園の樹々を見ることが出来るレストランもあり、今回は、このレストランで会食をしながら総会を持ちました。総会後、幸山支部長から、母校の様子、同窓会のありかたについての報告を受けました。

近況報告は、フランス料理をいただきながら、海外、国内旅行のそれぞれの場所の楽しみ方、お孫さんの話題、詩吟披露、各自の健康法など、様々な

話題で盛り上がりました。

その後、砂田悦子様（女大1国）によるミニトークがありました。NHK大河ドラマ「光る君へ」と源氏物語についてというテーマで誠にタイムリーでした。

各自、絵画鑑賞をした後、チェンバロとフルートの演奏会がありました。今回のテーマは、「鳥のさえずり」。アンコール曲「野ばら」二曲もあり、季節的にもぴったりでした。

「なかつた美術館」はJR尾道駅から徒歩十五分の場所にあり、種々なイベントも企画されていて幅広い年齢層で楽しめると思います。

雨も、また悪くないと思えた一日でした。皆さま、今後ともご自愛の上お過ごしください。母校の益々のご発展を祈りつつ。



三原支部

川口 真理子（女大6児）

三原支部では、令和六年度は総会がありません。前年まで、芍薬鑑賞をしておりましたが、活動休止も寂しいので、懇親会で楽しもうと阿伏兎観音見学を兼ねての昼食会を企画しました。

福山市沼隈半島の南端「阿伏兎岬」の断崖に立つ「磐台寺観音堂」は阿伏兎観音と呼ばれ、昔から海上交通の祈願所として、また子授け観音、安産の守護として人々の厚い信仰で支えられています。

総勢十四名ですがマイクロボスの送迎があり、ふもとのあぶと本館にはお昼前に到着。ごちそうを食べながら、





県立広島大学としての活動は、なかなか進みませんが、一歩一歩交流を深めていくことで、輪が広がっていくような気がします。

このような企画は初めてでしたが、皆さん楽しめたようで、またこのような会があれば行きたいといわれていました。

廊下は、傾き、歩きづらいところではありましたが、信仰の厚さを感じました。

歩いて観音堂へ出かけました。お堂には、おっぱいがたくさん収められていました。



学生時代の思い出話や、現在の生き方など、色々な話に花が咲きました。もっと話をしたかったのですが、阿伏鬼観音見学もあるので、お喋りもそこそこ

三次支部

徳永 泰臣（農短11畜産）

令和六年の三次支部総会は、慣例により隔年開催にしているため、開催をしませんでした。その分、ヒルトンでの県立広島大学同窓会への参加呼びかけをし、多くの出席をいただきました。

三次支部としては、令和五年から庄原キャンパスの白楊祭へ焼き芋、大学芋などで出店し、大学祭を盛り上げています。

令和五年の白楊祭での出店収益金は大学へお渡しし、活用をお願いしていたところ、写真にある「同窓会三次支部のおごり自販機」を設置していただきました。

この自販機は、二人で学生証をタッチすると飲み物がタダになります。一人週一本までと限りはありますが、学生同士の仲間づくり、他愛のないおしゃべりが良い学習のきっかけになる特別な自販機なのです。



令和六年も十月二十六日二十七日に開催された庄原キャンパスの白楊祭で、三次支部同窓生が学生と一緒に作ったさつま芋で「大学芋」「焼き芋」を作り出店しました。それが縁で、地元の夏祭りへ、学生たちと一緒に「焼



きそば」で出店し、楽しい一日を過ごしました。反省会も、地元「比婆牛」の焼肉で大いに盛り上がり、学生たちとの交流も深めています。

三次支部は、これからもいろいろなチャレンジして、同窓会の活性化、同窓生の親睦の輪を広げていきたいと思っています。

東広島支部

大月 靖規（農短20農学）

十一月十七日HAKUWAホテルにて、第九回総会を開催しました。総会後に東広島警察署生活安全課の白井様を講師に「特殊詐欺被害防止のために」と題して防犯講話をして頂きました。最近、増加傾向にある課題ですので皆さん熱心に聞いておられました。今回は久しぶりの懇親会も併せて行い、竖琴

の音色が奏でられる中、会員同士の親睦を図りました。



防犯講話



懇親会



総会後の集合写真

総会までの役員の方々のご協力に感謝し、また次回は二年後になります。支部活動が会員の皆さんの参加のもと活発になりますように、新役員一同願っております。



役員会風景

竹原支部

元矢 和司（農短2畜産）

竹原支部会則で三年ごとに総会を開くとしてあります。令和六年度がこの年に当り役員会で総会を実施することと決定し準備を進め「同窓会会報19号」支部だよりに総会予定日を記載しました。四月に入り総会、案内状ハガキに印刷、五月十二日締切とし十四日に竹原支部全員百九十名に発送しました。出席者を確定し総会にのぞみました。

総会当日は、竹原道の駅に集合し町並み保存地区を散策後、総会を開催しました。

日時 令和六年五月十九日（日）
十一時三十分より

場所 大広苑（竹原市内）

出席者 十二名（当日欠席者一名）
総会は、開会、支部長挨拶後、北村会長より同窓会の現状、また今後のあり方などを話していただきました。つ

づいて令和三年度、四年度、五年度の決算報告、監査報告をしていただき、役員改正を行ない、竹原地区は、大崎上島の山本堅史支部長、私、元矢が副支部長と決定しました。次に自己紹介、近況報告をしていただき懇親会に入りました。会席料理を囲み、往時を偲び、共に語らい、和気あいあいのうちに、会が盛り上がりしました。次回の総会を楽しみに閉会いたしました。

総会前の、町並み保存地区散策は、道の駅出発後、観光ガイドの案内により一時間三十分、塩で栄え北前船も立ち寄った、江戸時代の古い建造物松坂邸、儒学者頼山陽、ニッカウイスキーの創業者竹鶴政孝リタ銅像などがあり、ゆつくりと散策。私自身あらためて竹原の魅力を実感し、北村会長もガイドさんの説明に感動されていました。ぜひ竹原に来られた時は古い町並みを散策してみてください。

呉支部

山上文恵（女大6生）

二〇二四年九月一日（日）十一時よりクレイトン・ベイホテルで同窓会呉支部総会・懇親会を、二十三名の参加者で開催致しました。

総会を毎年行い、決算・予算案の承認をしていただくことにしています。二〇二三年度は本部からの助成金が二十万七千円ありましたが、二〇二四年度は、十三万七千円に減少している事を伝えました。今後も少なくなる予定



であり、収入減の中、呉支部懇親会を行う事を考えておく必要があることを皆さんに理解を求めました。

決算承認後、広島県出身の長唄三味線方の川東陽華さんの演奏、長唄「花見踊」・三絃童謡「秋の虫」・藤の花・端唄「祇園小唄」「奴さん」に懐かしさを覚えました。アンコールでは「涙そうそう」の演奏に合わせて皆で合唱しました。古典から他ジャンルまで演奏できる方で、実のある時間を過ごしました。

その後は、恒例の美味しい食事を堪能し、同窓の皆さん同士おしゃべりで盛り上がりました。農短の初参加の方を交えて様々な会話が飛び交い、楽しい時間を過ごしました。



来年は参加者の増を働きかけていきたいと思ひますし、より多くの同窓生の皆様に元気で会えることを楽しみにしています。

山口支部

末釜 久之（農短10農業）

山口支部では、コロナ禍以降、支部総会の開催が再開できずにあります。支部の皆様は活動報告ができないことを、大変申し訳なく思っております。

山口支部にご住所の登録のある五十代以下の会員の方は、全体の半数を占めています。是非、今後の支部活動を盛り上げていただきたいと願っております。

興味のある方は支部、または事務局にお問合せいただければと思います。

愛媛支部

石田 和子（女大22食）

現在愛媛支部は、県立広島大学同窓会会則第三条に掲げる会員のうち、愛媛県内に居られる方々（二〇〇五年に県立広島大学に統合された県立広島女子大学・広島県立大学及び広島県立保健福祉大学ならびにそれぞれの前身校「広島県立広島高等学校専攻科・広島女子専門学校・広島女子短期大学・広島女子大学・広島農業短期大学及び広島保健福祉短期大学」の卒業生）四八二名（二〇二四年五月現在）で構成されています。

この構成メンバーである愛媛支部会員に直接関係する主な事業として、次のような活動があります。

- ① 本部による支部長会、県立広島大学同窓会総会・懇親会（毎年開催）
 - ② 支部による支部総会（支部会則により隔年開催…七月の第一日曜日）
 - ③ 役員の選出（支部会則により役員任期二年。最長三期まで留任可）
- 今年度は②・③が無く、①に私と政岡副支部長（女大23社福）が参加しました。

まず、支部長会に参加して気づいたことは、どの支部も創意工夫を凝らしながら企画・運営を図っていること。

その一方で、支部の維持・存続に向けた「役員の後任問題」と「支部総会の活性化」が各支部共通の課題であるということとす。

次に総会では、広島農業短期大学卒業生でありながら、「Dr.コトー」と「ドクターX」をミックスしたような医師に転身され、国内外で活躍中の小倉健一郎先生のドラマチックすぎる講演に、私たちは終始釘付けとなりました。（同会報誌「講演要旨」をご参照ください。）

最後に懇親会で、後輩にあたる現役大学生から大先輩までの幅広い年代の方々との出会いを通して、笑いと共に元氣と勇気をたくさんいただきました。この贅沢で心豊かな「一期一会」の時間を過ごす中で、自分の中に次のような根柢のない感覚を抱きました。もし、同窓会の維持・存続や活性化を実現させる魔法の一助があるとするれば、それは同窓生一人ひとりの「人」であり、



懇親会にて講演講師と各支部会員と一緒に

その人々の「思い」ではないかと。今回初めて同窓会に参加した私たちは、県立広島大学同窓会の未来に、新しい形の希望を確かに垣間見た気がしています。

北部九州支部

大場 邦子（女大11社福）

北部九州支部では、二年に一度の支部総会（同窓会）を開催しています。令和五年度の総会では、女子大短大期の先輩方の参加がなく、改めてコロナの影響の大きさを感じ、淋しい思いをしました。

一方で、農短の方の参加が増え、新たな顔ぶれで、楽しい一日を過ごすことができました。また、青春時代を過ごした時期や場所は違っていても、いろいろな話をする事で、多くの学びがあると気づかせてもらいました。

令和七年度の総会では、新支部長の下で、新体制を作っていくよう考えています。一人では躊躇される方も、同期の人に声をかけて一緒に参加していただくと、支部総会も一層楽しいものになります。

二〇二四年度は交流会を次のとおり開催しました。

日時 二〇二四年七月七日（日）
場所 別府市フジヨシビル二F
鉄板焼き 作（さく）

出席者 女短 二 農短 四
女大 三 計 九名

今年は同窓会本部より西村義則副会長（農短21農学）に来賓として参加していただきました。

広島市での同窓会総会及び事務局長会議報告（吉原副支部長）とお互いの近況報告を行い、懇親を深めました。

来年度は大分市で総会を開催する予定です。案としてマンドリン演奏、支部規約の協議、支部会報第七号の作成を考えています。内容は学生時代の思い出や近況報告等です。多数の寄稿をお願いいたします。

大分支部

熊本 昭憲（農短19農学）

大分支部では毎年七月第一日曜日に総会と交流会交互に開催しています。

